

刊日 發行所 印刷所 電話



刊日 發行所 印刷所 電話

定額 一月 半年 一年 零售 廣告 訂費

常警毎日新聞 飼鳥は果して 有望な事業か 井田宗鳳

目である。元來食用鳩は力... 堀江正茂 加藤丈夫 小泉源三郎



本日柳川 出前 迅速 本年も相変わらず御最負の程願ひます

園藝肥料各種 菅野屋肥料店 (電話百五十七番)

生殖機能 エキスピリン 衰弱を欲する人に

中野吳服店 特價品 縮緬縮襪二十八銭

養命酒 其偉効眞に神の如く 山野邊藥局

正金商會 諸器の鍍金及つやだ

Advertisement for 正札堂 (Shinshaku-do) featuring illustrations of two men in suits and text about their products.

荊妻トク子儀豫て病氣の處 五分死去致候に付此段謹告仕候

外科 入院應需 上田外科醫院

印半天專門 優秀品の証明 草野染工場

阿部石炭商店 電話二七三番

空つゆらしい

昨今の天気模様

お百姓方は早くも懸念

先月廿五日頃一寸梅雨らしい模様を見せた位で、氣壓の配置はそれ以來崩れて十二日から

梅雨に 這入つても

雨の来さうな模様もなく、から梅雨らしいと懸念されて居るが小名濱測候所の觀測に依ると十四日の氣壓の配置は七六一程の高氣壓が小笠原島附近まで出張り内地は勿論朝鮮なども其勢力範圍内でのため九州北海道では曇つて居るが内地は一般に 天候は良好であつた、併し楊子江下流域に七四八程の低氣壓が現れ東北東に進行中であるから此低氣壓が日本海に這入らず本邦の太平洋岸を東北東に進行すれば梅雨の型となりシト〜と降り出して来るであらう但し今の處この楊子江下流域の

低氣壓 がどう進行するかハッキリ判らないと

霧笛落成式

本日豊間にて

本縣水産會唯一の事業として昨夏鹽谷岬燈臺敷地内に建設した霧笛落成式は本十五日午前十一時から現場に於て舉行される爲め通信省燈臺局からは設計者である石川博士が臨席するので縣からも會長代理として佐

は各自十分の準備をなすべく十三日午後四時から平町警備銀行内に組合幹事會を開いて協議したが銀行經營者としてはモラトリアム

暑さが増して

海水浴場の準備

四倉の脱衣組合會合し

種々の協議を重ね

石城郡唯一の海水浴場四ツ倉海岸は毎夏入浴者が多く今年も昨年より増加の見込みで町當局に於てもそれぞれ準備中なるが脱衣場組合長大河原米松氏外十二名は十二日字新町旭館に集合脱衣場設置につき協議をなしたがるべく物價を安くし客の吸収を圖る事となつた

靴を盗んで

同僚に賣る

石城郡内郷村大字宮警備城炭礦雜夫耶麻郡榎原村生野崎忠五郎(三)は去る四日夜居村飲食店高萩屋方にて渡邊太平の黒革靴を窃取し是れを他に賣渡した事發覺本日平署に檢舉されたが餘罪ある見込にて取調中

大きな投票箱

平役場に到着

普通選舉が敷かれる前提として本日平町役場に縣廳から投票箱が到着し伏見町長下檢分を行つたが同投票箱は高さ三尺二寸、横三尺四寸、幅二尺二寸と云ふ恐ろしく大きなもので倉庫もぎ

體軀の改良

宙に迷ふ

石城産馬畜産組合では去四日より技術員一名を増員し産種馬の體軀の改良を計る等の處當局に於ける種々な



梅雨期の注意

梅雨期の注意 (上) 体を冷やさぬやうにするのが大切であります。若しお腹をこはして下痢を起したならば直ぐ止下劑を飲んで

坑夫等自覺し

漸次右傾に轉換

▽...爭議は種切れ

最近些か爭議種ぎれの觀ある石城地方炭礦界の勞働者中には何れかと云へば概ね附和雷同的態度に出發し餘り多くの根據を有せざりし從來の所謂階級意識から翻然として沈靜の我に還り或は一種の事大思想から會社側に與するもの漸次多きを加へかの入山爭議の解決後に在つては各山とも加速度を以て逐日右傾團體の勢力を増つゝあるやに見受けらる

大金魚の王様

初夏の涼しい話

金魚の尾 鰭が立る 小波に縁 側の涼味 を味ふ夏 が来まし た。金魚 の趣味も年々廣まつてゆきまして、少し熱心にやつてゐる人達は金魚の王様らんちゆうを手に入れたがり、又卵を孵化していいのを得やうと熱中したりしてゐます、これは金魚の

上等に

なる素はらしいのは五百圓以上のものや四百圓、二百圓といつた高價な値が出るので、慾も手傳つてゐることです。その金魚アサシが渴仰してゐるらんちゆうといふのは背鰭がなくて、楕形の曲線がなめらかに一線々々がき尾のつけ根

尾の形

ちはかたすぎず、やはらかすぎず、長さぬ手頃のもので、子供は鼻頭が方形で、生長すると立派に獅子頭が出来、鰭や腹の形も獅子頭の形が左に右共に均整のとれたものであります、色は赤白斑になつてゐて、赤が口べたに

面かぶ

り、尾ふりといつた適當の場所にあるのが上等なものです、金魚の餌ひ方は、池は材木でもたき古いもの程よく、半坪位の池にこのらんちゆうでししたら、四尾位の割合に入れるのが最もよいのです、水は石灰やマグネシウムや

鐵分を

よくんだ井戸の水がよく水道の水は不適當です、水は朝ぐんだらその翌朝前の水と同じ温度にあためたて入れるとです、冷たいと、ひやりとしまし、そして一週間に一度位取り替へばよく、水の色の青味を 帯てくるのは薬が發生したので、これは食料になります、但赤く

井戸水

やそこに發生する薬を之に當ます、又大事などは日光のよく照る所に池を作るのであります